



学校だより



学校教育目標

# 昇陽

# Sho-yo

校訓「昇る陽の如く」 第11号

発行日

令和5年

2月1日

学ぶ喜びを知る生徒 誠実な生き方ができる生徒 たくまい気力・体力を身に付けた生徒



## 困難を乗り越える —冬場を迎えた生徒の皆へ—

校長 寺井 進一郎

令和5年度も冬場が続いています。先月末には巨大な寒波が訪れ、今年も県北部独特の赤城おろし「空っ風」が頬に冷たく当たる時期になりました。登校する生徒の皆さんの吐息の白さが目立ちます。ふと、受験期を過ごしている3年生の生徒の皆さんの立場を考えます。

入学試験本番を迎えている今、日々、自分との戦いが続いているだろうな…と思います。「受験期」といえば、個人的に思い出す、いくつかの話や言葉があります。

### 受験期に思い出す話—その1— 映画「奇跡の詩」

1971年、南米・ペルーの首都リマを飛び立った旅客機が、悪天候のため、アマゾンの密林に墜落するという悲惨な事故が発生しました。乗客のうち、17歳の少女・ユリアナが唯一の生存者となりますが、彼女は未開のアマゾンのジャングルを10日間（200km以上）にわたって歩き続け、奇跡的な生還を遂げるといったものです。ユリアナの10日間は、それは苦痛に満ちたもので、猛獣やワニ、ヘビ、ハエやヒル、ウジ、肉食魚などに次々と襲われながらも、諦めずにひたすら歩き続けます。密林をさまよいながら、彼女は、ふと、地理学者である父の言葉を思い出すのです。「ジャングルの中で道に迷ったら、どんな小さな流れでもいいから、下流に向かいなさい。そうすれば、それは小さな川となり、やがては大河に出る。そして、大河のほとりには、必ず人が住んでいる。」ユリアナは、父の教えどおり、小さな流れを見つけて下流に向かい、川に出て原住民に救助されます。乗客92名のうち、生存者は彼女一人。同乗していた母は帰らぬ人となりましたが、別の土地で娘の帰りを待っていた父との再会を果たします。二人は堅く抱擁を交わすのでした。



「奇跡の詩」——御存知の方はいらっしゃるでしょうか。1974年に公開されたアメリカ・イタリア合作の事実を基に再現した映画作品です。何も頼るものがない、圧倒的に不利な状況下で、かつての父の教えを信じ、諦めずに生きようと努力を続けた少女の強さに胸を打たれる作品でした。

### 受験期に思い出す言葉—その2— マンガ「大純情くん」から

「できる」と信じていることは、時として できることがある。

「できない」と信じていることは、絶対にできはしない。

(ナピカ・マナムーメ)

サナギを「醜（みにく）い」と嘲（あざけ）り笑う者は、サナギから生まれるチョウの美しさを知らない。

(カーリー・インダス昆虫伝第12章)

マンガ「大純情くん」は、「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」でお馴染みの漫画家・松本零士さんが駆け出しの頃、1977年に描いた悩める学生の話です。アパートに住む受験生のケジメ君（主人公）は、勉強や生き方に思い悩むのですが、同居人の島岡さんという女性にもらった何冊かの本の言葉に助けられます。2つの格言はその中に出てくるもので、松本零士さんの創作によるものです。

これらの話・言葉は、私が高等学校1年生の時、大学受験を乗り越えた3年生の先輩が語ってくれたものです。彼は、これらの言葉を自分に言い聞かせて辛い受験勉強を乗り越えたのだそうです。そう下級生の私に教えてくれました。

なぜか、これらに強い印象を受けた私は、その後、困難が訪れた時には、「奇跡の詩」の少女ユリアナの諦めない強い気持ちを思い出すようになりました。そして何かを達成するために努力を続けなければならない状況になったときには、「できる！」と自分に言い聞かせるとともに、泥まみれ・汗まみれになって、格好悪くても、そのうち、「チョウのように美しい結果を出すのだ…」と自身を奮い立たせるようにしています（いい話・いい言葉だと思っています）。



60近い私が40数年前に知り、影響を受けた話・言葉を紹介しました。冬場の受験期を過ごしている3年生の皆さん、困難・壁を乗り越えなければならない生徒の皆さんに心からエールを送ります。

## スキー学校（1学年）

第3学期が始業して早々の1月11日（水）～13日（金）にかけて2泊3日の「スキー学校」（長野県志賀高原）に行きまして。

折からのコロナ禍「第8波」の文字どおり、近隣の地域に感染の波が迫る中での実施となりました。

正月明け、他との交流が本格化する前に出かけたことが功を奏したのか、一人の発熱者もなく無事に3日間のスキー実習を終えることができました。生徒のスキー技術の向上、集団生活の絆を感じました。準備から送迎に至るまで御協力くださった保護者の皆様に厚くお礼を申し上げます。



## 埼玉県小中学校児童生徒美術展北埼玉地区展

1月20日（土）、21日（日）の2日間にわたり、行田総合体育館「行田グリーンアリーナ」を会場に第63回埼玉県小中学校児童生徒美術展北埼玉地区展が開催されました。

この展覧会は、埼玉県全ての小中学校の図画工作・美術の授業で製作・制作した作品の内、各市町村で選ばれたものを県内10地区の会場に分けて展示し、広く一般の方に公開するものです。

北埼玉地区（行田、加須、羽生）では、小・中学校全65校の児童生徒の作品約3,700点を展示公開し、2日間で5,500人余りの来場者がありました。作品鑑賞に御来場くださった皆様、ありがとうございました。

【一般公開当日・展覧会場の様子】



### 2月の行事予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	水	定期テスト（3学年）	15	水	県公立高校志願先変更期間
2	木	定期テスト（3学年）	16	木	県公立高校志願先変更期間
3	金		17	金	
4	土		18	土	
5	日		19	日	テスト前部活動停止
6	月	特別日課（5校時：研究授業1年4組、2年4組）	20	月	
7	火	全校朝会（リモート）	21	火	家庭学習充実デー・ふれあいデー 公立高校受験事前指導（3学年）
8	水	フッ化物洗口	22	水	交通安全指導 県公立高校学力検査 定期テスト（1・2学年）
9	木	校外学習（2学年）県公立高校出願期間	23	木	天皇誕生日
10	金	県公立高校出願期間	24	金	公立高校実技検査・面接（一部） 定期テスト（1・2学年）
11	土	建国記念の日	25	土	
12	日		26	日	
13	月	県公立高校出願期間	27	月	
14	火	生徒会専門委員会 ノーメディアデー	28	火	表彰朝会

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更する場合がございます。